

I.ロシアによるウクライナ侵略が続く中、日本を含む東アジアの平和をどのように維持するかが問われています。安全保障についてお尋ねします。	賛成か 反対か	磯部裕和 国民民主党 千葉県議	佐野正人 日本維新の会 習志野市議	斎藤和子 共産党 元 衆議院議員	七海ひろこ 幸福実現党 党役員	小西ひろゆき 立憲民主党 現 参議院議員
(1)敵のミサイル発射基地などを破壊する、「敵基地攻撃能力」について、「反撃能力」に名称を変更した上で保有し、対象範囲は基地に限定せず指揮統制機能なども含めるべきとの意見があります。この「反撃能力の保有」についてどのようにお考えですか。	日本が「反撃能力(敵基地攻撃能力)」をもつことに	賛成	賛成	反対	賛成	反対
(2)防衛力の抜本的強化に必要な予算を確保するため、防衛費は対 GDP(国内総生産)比で2%以上を目標とすべきだとの意見があります。これについてどのようにお考えですか。	防衛費を対 GDP 比で2%以上の目標とすることに	賛成	どちらとも言えない	反対	賛成	反対
(3)日本がこれまで堅持してきた非核三原則を見直しアメリカと「核共有」をすべきとの意見があります。これについてどのようにお考えですか。	非核三原則を見直しアメリカと「核共有」をすることに	反対	どちらとも言えない	反対	賛成	反対
(4)日本国憲法の第9条に「自衛隊」を明記する改憲案が出されています。これについてどのようにお考えですか。	憲法9条に「自衛隊」を明記することに	賛成	賛成	反対	賛成	反対

今度の参議院選挙は、ウクライナでの戦争という、今まで経験したことのない政治環境の中で行われる選挙です。

ロシアによるウクライナ侵略がつづく中、日本を含む東アジアの平和をどのように維持するか、戦争をさせないために、どのような政策がとられるべきかが問われていると考えます。

そこで、私たちの会は共同で、「戦争と平和」の問題に絞ってアンケートをおこない、5月末に立候補予定者10名にお願いし、6名の方から回答(無記名の回答1名あり)をいただきました。

投票の参考にさせていただければ幸いです。

平和・人権・教育と文化を考える会 090-6149-4132 栗原
未来をつむぐ安房の会 090-3312-7607 伊藤

	名前	自由記述(回答があった方のみ掲載)	
I	(1)	佐野正人	ただし、しっかりとした論議が必要。
		齋藤和子	「専守防衛」の放棄だ。さらに岸田首相は集団的自衛権行使の際にも敵基地攻撃できるとの見解を示した。つまり日本が攻撃されていないのに、米軍と自衛隊が一体となって攻撃するというもので、まさに憲法違反だ。
		七海ひろこ	日本が国防上の危機を乗り越えるには、攻撃を受けてから反撃する能力以上に防衛力・抑止力強化こそ必要。通常兵器による「敵基地攻撃能力」だけでは核による反撃も予想されるため、抜本的な核抑止力の強化も同時に図るべき。
		小西ひろゆき	敵基地攻撃能力を集団的自衛権行使にも使用すると政府方針は違憲。個別的自衛権行使(専守防衛)の敵基地攻撃能力は米国の打撃力に委ねるとの従来からの日米同盟の基本的役割分担を変える必要はないと考えている。
	(2)	佐野正人	どちらともいえない。GDP比1%以上の増額は必要と考えるが、「2%以上」が適切かは現時点では判断出来ません。
		齋藤和子	実施されると世界第3位の11兆円の軍事大国となる。財源として狙われるのは消費税増税、社会保障の大削減ということになる。「軍事力対軍事力」に走るのではなく、9条を生かした平和外交こそ真剣に取り組むべきだ。
		七海ひろこ	自主的な防衛体制を構築するため、防衛費を早期に現状の2倍以上に引き上げる必要がある。その際、国外の高額な装備品の購入はできるだけ抑制を図りながら、国産装備品重視への回帰を図るべきと考える。
		小西ひろゆき	防衛費二倍増の金額ありきは余りにも粗雑な議論。GDP比2%以上は世界三位防衛費で明らかに過大で財源確保も事実上不可能。政府与党の議論は外交戦略なき軍備増強でもあり、平和国家を変質させ国を誤る危険がある。
	(3)	佐野正人	どちらともいえない。しっかりとした論議が必要。
		齋藤和子	「ノーモア広島、長崎」、戦争被爆国の日本だからこそ、非核三原則を守り核兵器廃絶の世論を広げる先頭に立つ必要がある。「核兵器は人類と共存できない。悪魔の兵器」だ。日本は核兵器禁止条約を批准すべきだ。
		七海ひろこ	岸田首相の述べる「核のない世界」ではなく「核を落とされたくない世界」を実現するには、「核を持ち込ませず」を含む非核三原則を見直し、核共有のほか自前の核装備も視野に核抑止力の強化を進めることで日本の平和を守る。
		小西ひろゆき	核共有は憲法前文の平和主義及び9条に(純粋理論上の極限的例外を除いて)違反し、より強大な核の先制・報復攻撃の危険を生じさせ防衛政策的にも不合理。なお私は岸田総理に「非核三原則は国是」と答弁させている。
(4)	齋藤和子	憲法9条は侵略戦争の反省からつくられ、「戦争はしない、軍隊は持たない」というもの。9条は世界から日本が信頼される根拠にもなってきた。敵基地攻撃能力保持・大軍拡のもとで、自衛隊を憲法に位置づけるのは戦争への道です。	
	七海ひろこ	9条への自衛隊「加憲」を行ったとしても、日本の国防強化にはほとんど寄与しないというのが実態。今直面する危機に対処するには、9条を抜本的に改正し、自衛隊を「国防軍」と位置づけることが必要と考える。	
	小西ひろゆき	9条に自衛隊を明記すれば「一切の実力行使を禁止しているように見える」という歴代政府の9条の文理解釈が成り立たず、9条規範を変容させる。また、安保法制の集団的自衛権には歯止めがなく自衛隊を普通の軍隊に変質させてしまう。	

II.オスプレイが自衛隊木更津駐屯地に配備され、低空訓練空域に指定された阿波地域を含め、房総半島一帯にオスプレイが飛ばす中、県民の不安は増えています。この問題にどう対処すべきとお考えですか。(自由記述)

磯部裕和	防衛省と木更津市の合意が履行されるよう5年以内の解決を目指す。
齋藤和子	憲法違反の安保法制のもとで、大軍拡による「敵基地攻撃能力」保持の自衛隊が、米軍と一体に他国に攻め入る危険が、その殴り込み部隊の輸送機がオスプレイ。事故、墜落を繰り返す危険なオスプレイは千葉県、日本の空にいらぬ。
七海ひろこ	国民・領土を守るためにオスプレイは必要不可欠。中国による海洋進出や北朝鮮・ロシアの脅威に備え、有事が起こった場合に即応できる立地への配置を急ぐべきであり、佐賀以外にも、東北を含めた新たな移転先も検討すべき。
小西ひろゆき	外交防衛委員会理事として、陸自オスプレイの早急の佐賀空港配備に最大限の努力を政府に要請する。米海兵隊オスプレイは、沖縄の海兵隊駐留の軍事的合理性を元駐米大使ら米高官も疑義を表明する観点から粘り強く対処する。

III.あなたが国会議員となって、特に力を入れて取り組みたい事を、3つ以内に絞ってお書き下さい。(自由記述)

磯部裕和	給料が上がる経済の実現、教育無償化の実現。
佐野正人	① 議員定数・報酬の3割カット ② 教育の無償化 ③ 同性婚を認め、選択的夫婦別姓を導入
齋藤和子	誰もが金銭の心配なくよりよく生きられる戦争のない平和な社会の実現。 憲法25条、26条にもとづき、子どもの医療費、給食費は国の責任で完全無料に。 有機農産物の生産を後押しし、家族農業で食糧増産を。
七海ひろこ	財政赤字で国家破綻させないためにバラマキや無駄な省庁といった政府の無駄遣いをやめ減量させる。次に減税で安くシンプルな税制にし努力する人が報われる社会を創る。中国の悪事は許さず、正義ある平和を実現する。
小西ひろゆき	憲法審査会の野党筆頭幹事として憲法の基本原理に反する改憲議論を阻止する。岸田インフレ、格差から国民生活を守る。立法した循環器病対策推進基本法、第八次医療法医療計画の策定を通じて憲法25条生存権の医療を創る。